

魚沼民商だより

2017年
5月 29日
第2055号

〒 946-0032

発行 魚沼民主商工会
新潟県魚沼市板木
電話 025 (792) 3064
e-mail: umhsyo@ose.ocn.ne.jp

元気に全商連地方別活動 交流会に参加しました

5月20、21の両日、東京都内で「全商連第3回地方別活動交流会」が開催され、魚沼から高橋会長はじめ、岡村副会長、宮崎副会長（兼共済会理事長）、中沢副会長（兼財政部長）、横山婦人部長、そして須田局長の6人が参加してきました。

参加者から「全国の皆さん、すごく頑張っている。元気をもらった」「年だからなんて、言い訳にはならないよね」と、参加して良かった話しが寄せられました。この間、役員を先頭に組織建設の前進を切り拓いてきました。奮闘された皆さん、本当にお疲れさまでした。

特に17、19日は怒濤のようなドラマが展開されました。

17日風、塩沢支部の会員の息子さんが独立開業（サービスマン）で入会し、共済会と青年部も同時加入・入部しました。又この日夕、六日町支部「拡大統一行動」が行われ、読者9名を増やしました。18日夕、広神支部の佐藤さんが一気に読者6名を増やし、この時点で全商連第52回総会時現勢の読者数を回復しました。19日風、六日町の今井支部長



の奮闘で読者1名増やし、これで六日町支部は2桁の読者を増やしたことになります。

こうした皆さんの後押しによって、魚沼の参加者は全国の経験を元気に学ぶことができました。

経営力アップに繋げる、 交流カフェ開催について

昨秋の商売を語る交流会（異業種交流）では、参加者から「私は組合に入っていないので同業者だけの話しを聞いてみたい」と感想が寄せられました。又今春の生業を語り合う交流会（「小規模事業者持続化補助金獲得」経営事業計画書をもとに交流）で強調されていたことは「自分の商売をよく知る（自覚すること）が大切」ということ、会員の「交流の広場」（※民商だよりの2面の掲載する宣伝アピールコーナー）をもっと活用しようの発言や感想等が寄せられました。そして六日町支部の役員から「班の仲間の経営相談について、異業種なものだから民商としてどういう活動がいいのだろうか」との話しも寄せられています。



魚沼は山間部地域であり、農業と観光業を柱とした地域経済の主役となっています。国が押し進めようとしている地方創生の名をもちに地域の集約化が加速され、ますます地域格差が広がるという深刻な問題に直面しています。

いま民商では自治体に提案型の要請を行うとともに、同業者どうしの交流会を話し合っています。形式化したものではなく、仮称ですが「旅館カフェ」、「建築カフェ」、「理美容カフェ」等といった、座談会的なものを検討し始めています。

FM雪国の生番組「ミセス・ダイナマイト」出演

5月31日、いつもお世話になっておりますFM雪国さんの番組に民商が久々に生出演することになりました。「ミセス・ダイナマイト」（MC・山崎麻里さん）毎週水曜・13時27分のサポートクラブ（※地域のお店や会社の方が生出演でPR）枠に須田局長が出演します。約10分間です。

魚沼民主商工会

第50回定期総会
日時 7月2日（日）
午後2時00分（予定）
会場 新林屋（塩沢）

魚沼民商共済会

第33回定期総会
日時 7月2日（日）
午後1時00分（予定）
会場 新林屋（塩沢）

今月は民商の会計年度末です。月内の会費納入にご協力ください

2面もご覧下さい！

法律相談のお知らせ

日時 6月 13日（火）
午後1時より
会場 民商事務所
弁護士 二宮 淳吾 先生
(新潟合同法律事務所)
相談料 3,000円
※事前の予約制です。早めに民商事務所までご連絡ください。